



先日ですが、あるお客様から今後の電気設備におけるメンテ等の相談がありました。ここに至るについては、かつて当社の作業状況をご覧になり、作業員全員の仕事に対する姿勢が素晴らしかったという評価を頂き、そして今後も電気設備の面倒を見て貰いたいと申し出られたのです。

当社のモットーとしている「技術・教養・モラルの高い、企業・社員」が評価されたのだと大変嬉しく思いました。仕事は出来て当たり前、それに加えて仕事に対する姿勢が大事と思っています。仕事に対する姿勢こそが北陸電設のファンを創り、そして末長い関係を創るのだと自負しております。北陸電設は今以上に志を高くして、顧客から愛される企業となる努力を惜しみません。

これから暑さが本格化していきます。昨年同様もしくはそれ以上の猛暑になると予測されています。熱中症等には十分気を付けましょう。
代表取締役社長 藤岡健一

入社14年目、社会人25年目

蟹澤 賢司



自分は北陸電設に入社し、14年目になります。社会人としては25年も経ってしまいました。こういった書き物などは北設ニュースでしか書かないので、何を書こうかと考えると、今までの仕事のことを思い返す良い機会だと思いました。

電気工事といっても内線、外線、土木、通信、機内配線・・・とまだまだありますが、とても幅広いです。以前私は、電気工事に携わる前は手に職を付けろという星一徹のような厳しい親父の元、板前、大工、家具職人とやってきましたが、全く考えてもいなかった電気工事の会社に就きました。若い頃は勉強もしてこなかった自分が電気の知識も無いので勤まるはずがないと思っていましたが、もう20年以上電気工事に携わっています。

最近、入社してくる人達は何らかの目的を持って電気工事の仕事を選んできたので、自分に比べて偉いなど感心します。自分が電気屋を続けているのは何故かと考えてみると一番の理由は達成感かと思えます。内線の長期現場の経験はありませんが、停電作業やCATV切替作業などの時間が決まっている作業の緊張感が良いですね。職人として工事するときは皆よりも早くうまく終わらせようとか、担当者なら自分の思い通りにパチッと終わったときはホッとするなど、多くの達成感があります。うまくはいえませんが学生時代の部活の試合に似た感覚があるような気がします。

これからはまた一つ一つ勉強しながら新しい達成感が得られるようやって行けたら良いです。

昨年の10月頃、北陸電設に入って3回目の社員旅行に参加しました。自分にとっては初めての海外で、場所は香港・マカオ・台湾の旅でした。旅行から半年以上経った今でもまだ印象や記憶に残っている事（特に印象の深かった香港）を述べたいと思います。



香港について、この旅で一番見てみたかったビクトリアピークでの夜景を見ました。普段、富山に住んでいて高い建物を見る機会がありませんので200m、300mクラスのビルが乱立している光景は圧巻でした。更に驚いたのは有名なことではありますが、それらのビルの工事現場の足場が未だに竹で作られていたことです。こんなにも高い建物が竹の足場で作られていることが日本では考えられない事なので、そこにとっても文化の違いを感じました。

日本人と同じ人種である香港の人の印象には違いが沢山ありました。大まかにいうと話をしている声がかたく大きく、何事にもダイナミックな印象を受けました。ジャッキー・チェンの映画に出てくるような人達そのものでした。カンフーで戦っている場面に遭遇することは残念ながらできませんでした（笑）。そして香港の人達に対して一番驚いた事は、お店で買い物をしてレジでの言葉が分からなかったのですが、おそらく一定数以上同じ物を買おうと安くなるということを旅行者である自分のために一生懸命伝えようとしてくれる場面が何度もありました。これが日本人だと言葉が通じない相手だとわかると見て見ぬふりをするのが大半だと思うのに、香港の人達はなんとかして伝えようとする。その親切心に驚きと感動を覚えました。

人生で初の海外でしたが、日本との違いについて知ることができてとても良かったです。そしてもっと違う国にも行ってみたいと思うようになりました。このような旅行に参加させて頂きとても感謝しています。

北陸電気工事安全体感施設を体験して

小瀧 貴之

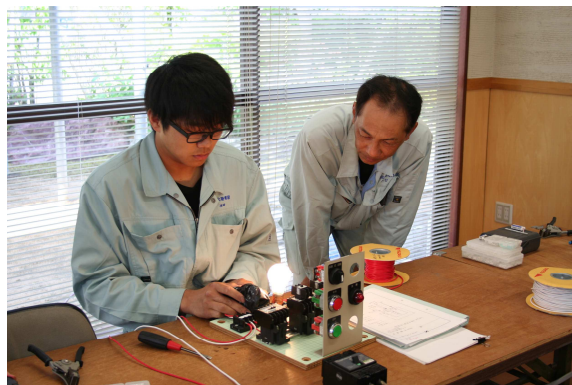


この度北電工の安全教育を受けてきて、改めて墜落事故や感電事故の危険性を再確認させられる経験ができました。今までの安全教育といえば座学を中心にしたものでしたがこの施設では実際に危険を体感することで座学ではイメージしにくかった事もわかりやすかったのではないのでしょうか。

今回体感施設では大きく分けて7つのエリアに分かれていた。1つはパネル展示エリア、2つ目は脚立・梯子落下体感エリア、3つ目ははさまれ体感エリア、4つ目が落下体感エリア、5つ目は感電短絡体感エリア、6つ目が巻き込まれ体感エリア、そして最後の7つ目が、今月の特集エリアとなっていた。ちなみに自分たちが体感した特集は、感電体験というものだった。この7つの中で興味深かったものは3つある。1つは脚立・梯子落下体感、2つ目は落下体感、そして3つ目が感電短絡体験となる。脚立・梯子落下体感と落下体感はず先ずは脚立からの転落体験だが残念ながら自分は普通に耐える事ができ脚立からの墜落とはならなかった。そして次が梯子からの墜落体験に関しては予想していても耐える事が出来ず見事に墜落となった。墜落してみても思ったこと、梯子が倒れると本当に何も出来ないという事。改めて梯子、脚立使用時の危険性と安全保護具の必要性を再認識する事が出来たと思う。感電短絡体感では本来体感できない高圧でのショートを実際に見ることが出来た事だと思う。話では聞いたことはあったが思っていた以上の音と光に驚いた。実際に現場などではあってはならないことではあるが、短絡するとどうなるかの危険を知っていれば今まで以上に気を付けて作業するのではないだろうか。

今回この施設を体感する事により座学だけでは想像しにくい様な事も体感する事が出来安全に関し考える良い体験が出来たと思います。

今月のトピックス



入社2年目の社員の勉強会風景です。組み上げた回路を先輩が動作確認しています。達成できるまで何度でも練習します。

【新入社員歓迎】 役川 祐亮さん



入社を歓迎します。
これから一緒に頑張りましょう。

北設ファミリー
続々、拡大中!!

業務(受注・竣工等)

- 某営業所の監視カメラ設置工事を受注
- 某病院エアコン設置工事を竣工

その他

- ・永年勤続表彰式にて小瀧さん(勤続20年)が表彰されました。

